未盗掘古墳の発掘調査

勝負砂古墳第５次発掘調査概報

岡山大学文学部プロジェクト研究成果報告書第７冊

Shobuzako tumulus excavation report

1-5th excavation, 2001-2005

Okayama,Japan

松 木 武 彦　編

Edited by MATSUGI,Takehiko

2008 年 7 月

岡山大学文学部

Faculty of Letters, Okayama University

未盗掘古墳の発掘調査

勝負砂古墳第５次発掘調査概報

岡山大学文学部プロジェクト研究成果報告書第７冊

松 木 武 彦　編

2008 年７月

岡山大学文学部

はしがき

本書は、2004（平成16）年度岡山大学文学部プロジェクト研究「未盗掘古墳の発掘調査」（研究代表者松木武彦、研究分担者稲田孝司・今津勝紀・新納泉、交付額800千円、成果報告書印刷費300千円）の研究成果報告書である。

本研究は、岡山県倉敷市真備町二万所在の勝負砂古墳の埋葬施設を調査対象として、おもにその設置状況を明らかにするために、埋葬施設上面および上部の盛土部分を発掘して考古学的検討を加えることを主たる目的とした。同古墳は、2002年度までの３次にわたる発掘調査によって、長さ38ｍ前後の前方後円墳である可能性が考えられ、墳丘の少なくとも一部を周溝が巡ることが明らかになっていた。2003年度の第４次発掘調査では、推定後円部頂から掘り込まれた乱掘壙が盛土の途中にまでしか及ばず、それよりも下の盛土と埋葬施設とは原状を乱されないまま残存していることが判明するとともに、埋葬施設を構成するらしい粘土と角礫からなる施設の一部が、試掘坑内において確認された。本古墳は未盗掘の可能性が高いと判断されたのである。

この判断を受けて、研究代表者の松木は、新納を中心として研究分担者とも協議を重ね、未盗掘の石室およびそれを包む盛土の構造を明らかにして古墳の実態に迫る目的で上記研究費を申請した結果、幸いにも交付が決定し、これを踏まえて2005年２月から３月にかけて第５次調査として発掘を実施した。本書はその成果の報告である。この成果の一部は、本第５次調査に先行する第１～４次調査（2000～2003年度）の成果にも負うところが大きく、第５次調査成果の学術的評価はこれら先行の成果なくしては成立しない点を鑑みて、第１～４次調査の概要も本書に併載することとした。なお、これらのうち第４次発掘調査は、松木を研究代表者とする2003年度の文学部プロジェクト研究「古代吉備における景観復元」の研究成果の一部を含んでいる。

本書の文章は、第５次調査を主として担当した松木、および調査に参加した岡山大学大学院大学院文化科学研究科（改組後は同社会文化科学研究科）の大学院生および文学部歴史文化学科考古学履修コース（改組後は同人文学科歴史文化学専修コース）の学生が作成した各調査年次の「成果報告会資料」に基き、それを松木が調整したものである。各部分の執筆者名は、本文中執筆部分の末尾に記す。編集は松木が担当した。

本書は、本来、研究実施期間が終了した2005年度に刊行すべきものであったが、研究代表者の松木が2005年度文部科学省海外先進教育研究実践支援プログラムによりイギリスに10ケ月間派遣され、帰国後は直ちに、本研究の発展的継続として勝負砂古墳第６・７次発掘調査に従事することとなったために、その執筆と編集を延期せざるをえなかった。第６・７次発掘調査の知見により第５次調査の成果が確定されるという側面もあったことも含んでご諒承を請うとともに、関係各位に御面倒をおかけしたことをお詫びしたい。

目　次

第１章　調査の経過 …… (1)

１．地理的・歴史的環境 …… (1)
２．第１～４次発掘調査の経過 …… (3)
３．第５次発掘調査の経過 …… (3)
４．謝辞 …… (4)

第２章　第１～４次発掘調査の概要 …… (5)

１．墳丘測量の成果 …… (5)
２．調査区の配置 …… (5)
３．周溝の状況 …… (6)
４．墳丘の状況 …… (8)
５．出土遺物 …… (9)
６．第１～４次調査成果のまとめ …… (11)

第３章　第５次発掘調査の成果 …… (12)

１．調査区の配置 …… (12)
２．後円部北トレンチ …… (12)
３．前方部Ｃトレンチ …… (15)
４．墳頂部トレンチ …… (15)
５．出土遺物 …… (23)

第４章　調査成果のまとめ …… (25)

土層注記 …… (26)

写真図版

挿図目次

図1　周辺の墳墓……（1）
図2　墳丘とトレンチ配置……（6）
図3　周溝の復元……（7）
図4　出土遺物（1）　埴輪……（9）
図5　出土遺物（2）　埴輪……(10)
図6　出土遺物（3）　須恵器……(11)
図7　後円部北トレンチ平面図・土層断面図……(13)
図8　前方部Ｃトレンチ平面図・土層断面図……(16)
図9　墳頂部トレンチ平面図……(18)
図10　墳頂部トレンチ土層断面図（1）……(19)
図11　墳頂部トレンチ土層断面図（2）……(21)
図12　墳丘の構築方法……(22)
図13　出土遺物（1）……(23)
図14　出土遺物（2）……(24)

図版目次

図版1　1墳丘の現状（1）
　　2墳丘の現状（2）
図版2　1後円部北トレンチ
　　2前方部Ｃトレンチ
図版3　墳頂部トレンチ
図版4　1第1～4次発掘調査出土遺物
　　2第5次発掘調査出土遺物